

目 次

まえがき	
序 論	1
§1 論理学とは何か	1
§2 言語と論理学	6
第1部 名辞 命題	9
第1章 名 辞	11
§1 名辞(概念)	11
§2 内包 外延 クラス	11
§3 内包とクラス(外延)との関係	13
§4 概念の種類と相互関係	14
§5 定 義	16
§6 区分と分類	21
§7 概念の形成	24
問 題	28
第2章 命題(Ⅰ)——伝統的考察	30
§1 命 題	30
§2 周 延	35
問 題	36
第3章 命題(Ⅱ)——記号論理的考察	38
§1 定言命題と存在的意味	38
§2 クラス論理学による命題論	40
§3 仮言命題の吟味 含意	50
§4 選言命題の吟味 選言 等値	54
§5 命題論理学	57
§6 真理値決定の方法	62

§7 述語論理学 定言命題の記号化	65
問 題	69
第2部 推 理	71
第1章 思考の原理	73
問 題	77
第2章 演繹推理(Ⅰ)——伝統的考察	78
§1 推理 妥当と真	78
§2 直接推理(1) 対当推理	80
§3 直接推理(2) 変形推理	84
§4 命題の真偽関係	87
問 題	90
第3章 演繹推理(Ⅱ)——伝統的考察	91
§1 間接推理	91
§2 定言三段論法(Categorical syllogism)	91
§3 妥当な定言三段論法の格式	96
§4 ヴェンの図による妥当性の判定	99
§5 各格の特性と相互連関	101
§6 定言三段論法の省略形と複合形	104
問 題	105
第4章 演繹推理(Ⅲ)——記号論理的考察	107
§1 妥当な推理と恒真式	107
§2 仮言三段論法(Hypothetical syllogism)	110
§3 選言三段論法(Disjunctive syllogism)	115
§4 仮言三段論法と選言三段論法との連関	117
§5 両刀論法(Dilemma)	117
§6 推理の妥当性の演繹的証明	120
問 題	125
第5章 演繹推理(Ⅳ)——記号論理的考察	128

§1 クラス論理による推理論	128
§2 述語論理による推理論(1)	134
§3 述語論理による推理論(2)	138
§4 関係による推理	144
問 題	149
第6章 虚偽論	151
問 題	155
第7章 演繹論理の諸問題	157
§1 演繹推理は不毛であるか	157
§2 諸論理学の連関	159
第8章 蓋然的推理(I)——帰納推理	164
§1 演繹推理と蓋然的推理	164
§2 類比推理	166
§3 因果関係	168
§4 枚举的帰納推理	171
§5 一致法(Method of agreement)	174
§6 差異法(Method of difference)	177
§7 一致差異併用法(Joint method of agreement and difference)	180
§8 共存継起の斉一と因果関係	184
§9 共変法(Method of concomitant variation)	184
§10 剰余法(Method of residues)	186
§11 ミルの方法の批判的検討	188
§12 自然の斉一性の原理	189
§13 帰納推理と蓋然性	194
§14 帰納推理に関する虚偽	196
問 題	198
第9章 蓋然的推理(II)——仮説 その発想と検証	200
§1 仮説とその条件	200
§2 仮説の発想	202

§3 仮説の検証	206
§4 対立仮説と決定実験	211
§5 帰納推理と仮説検証推理との関係	211
問 題	213
第10章 探求のパターン	214
問 題	217
第3部 科学の構造と方法	219
第1章 科学と常識	221
問 題	223
第2章 観察 実験 計量	224
§1 観察と実験	224
§2 比較と計量	225
§3 計量と法則	230
§4 統計と確率	232
問 題	240
第3章 法則 科学的概念	241
§1 法則の型	241
§2 説明と記述	245
§3 法則と定義	250
§4 科学的概念	256
問 題	259
第4章 公理と体系	260
§1 公理と体系	260
§2 公理系の形式化	263
§3 論理学の公理系	267
問 題	270
第5章 社会科学の方法	271
§1 社会科学の方法	271

§2 社会科学と価値判断	276
問 題	278
参考文献	279
索 引	285